

## 実証実験の実施内容

# 0 実証実験の概要

## 目的

- 利用者参加制度（＝北アルプストレイルプログラム（仮））導入にかかる**利用者を含む関係者の理解を促進**し、制度の**仕組みの有効性**を検討するとともに、制度の導入によって生じ得る**影響や課題の抽出**、**制度の継続可能性**について分析することを目的とする。

## 基本方針

- 資金を得ることのみならず、利用者を含む多様な関係者が登山道の維持について共通の理解を得ることについても重きをおく。
- 周知広報等の実施にあたっては、制度の対象となる地域や利用者の範囲、寄付金の使途等を明確に提示し、対象外の利用者を不用意に議論に巻き込まないように留意する。
- 寄付金を登山道の維持管理の原資として最大限活用できる制度設計を前提とする。  
具体的には、Webサイト上での情報公開・オンライン決済システム等の活用により、収受に要する人件費を削減するほか、その他経費（記念品なども含む）の削減をはかる。

# 0 実証実験の概要

## 実験内容

1

### 寄付金の収受

寄付金を収受し、財源を確保する手段としての有効性について検証する。

- ① 寄付金収受の実施概要
- ② 使途と対象地域
- ③ 収受の場所と受付方法
- ④ 周知方法
- ⑤ 実施体制

2

### 利用者等の理解促進のための情報提供

利用者が参照した情報媒体や看板の設置先等を把握し、情報提供・周知広報の有効性を検証する。

- ① 協議会ウェブサイトの開設
- ② 広報媒体による現地での周知

3

### 利用者意識の把握

利用者にアンケート調査を行い、現状の問題に対する認知度、寄付金に対する意識、登山動向を明らかにする。

- ① アンケート調査の実施概要

# 1 寄付金の収受

## 1 寄付金収受の実施概要

### 内容

#### 実施概要

制度名称	利用者参加制度 ＝北アルプストレイルプログラム（仮）	
種類	利用者の善意に基づく寄付金	
体制	実施主体 ・北アルプス登山道等維持連絡協議会 ・寄付金の収受と管理、ウェブサイトの開設と更新 検討主体 ・中部山岳国立公園南部地域山岳部における利用者参加制度のあり方検討会 ・実験の実施方針、寄付金の使途の検討、協議会への共有	
対象者	・槍穂高連峰および常念山脈エリアの長野県側登山道を利用する登山者 ・上記の登山道の維持に協力するすべての人	
受付方法	・クレジットカード決済 ・銀行振込 ・山小屋寄付金箱	
金額	基準額：1口500円	
期間	令和3年9月18日（土）～10月18日（月）	
収受場所	協議会ウェブサイト（オンライン）もしくは山小屋	
周知方法	広報媒体の現地設置・配布 ・看板 ・ポスター/チラシ ・カード ・ラミネート	その他 ・山小屋HPやSNS ・山岳メディア ・YAMAP 等

#### <北アルプストレイルプログラム（仮）>

- ・中部山岳国立公園南部地域山岳部における利用者参加制度のあり方検討会において、持続可能な登山道維持の実現を目指し検討を進めているもの。

北アルプス登山道等維持連絡協議会(北アルプス南部地域) 参照先：北アルプストレイルプログラム(仮)とは | 協議会について | 寄付金のお問い合わせ



北アルプス登山道等維持連絡協議会では、中部山岳国立公園の山岳部を訪れる登山者が安全で快適な登山ができるよう登山道等の維持補修や周辺環境の保全に取り組んでいます。  
【北アルプストレイルプログラム(仮)-利用者参加制度】は、中部山岳国立公園南部地域山岳部における利用者参加制度のあり方検討会において、持続可能な登山道維持の実現を目指し検討を進めているものです。

#### <負担金の種類>

- ・利用者の善意に基づく**寄付金**として位置づける。
- ※ 対象とする登山道を利用する、もしくは利用せずとも登山道の維持を応援したいという意欲のあるすべての方に協力を求める。
- ※ 利用者の属性（宿泊/日帰り、山小屋泊/テント泊等）の区別および除外対象は設けない。

# 1 寄付金の収受

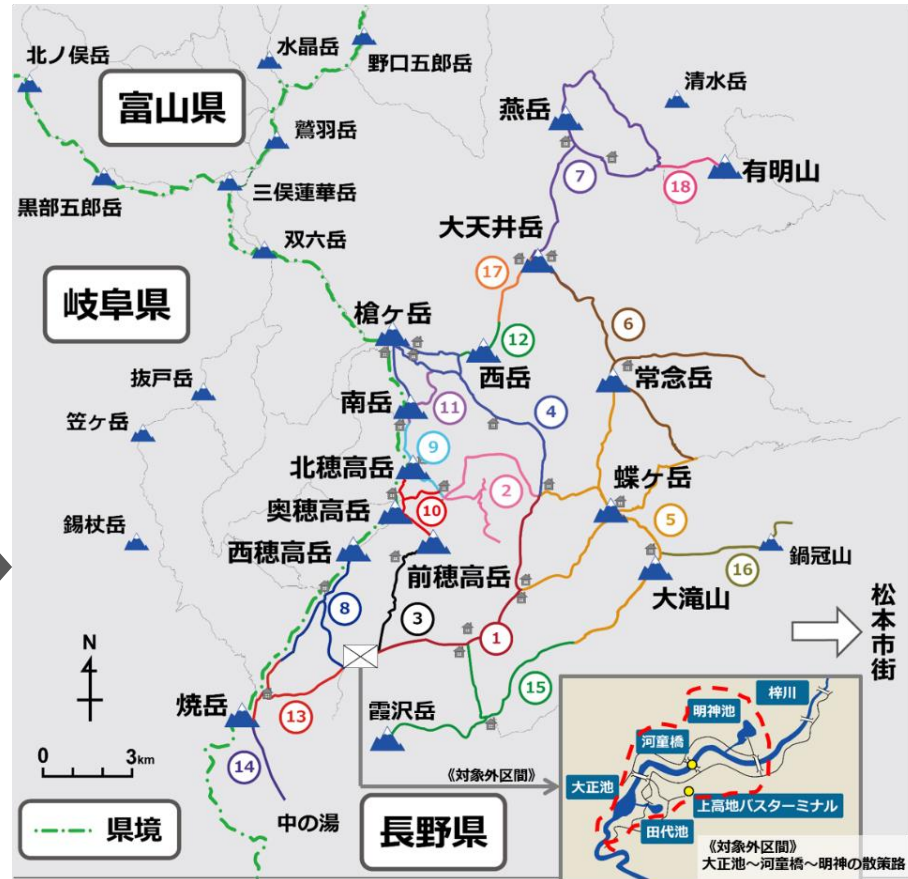
## 2 使途と対象地域

### 使途

- 北アルプス登山道等維持連絡協議会が実施する登山道の維持に充当する。  
(右図の色付き登山道)

### 対象地域

- 槍穂高連峰および常念山脈エリアの長野県側登山道のうち、北アルプス登山道等維持連絡協議会の対象路線。
- ※ 今年度、岐阜県側登山道、乗鞍エリアは対象外。



「北アルプストレイルプログラム(仮)」対象登山道一覧

- ① 明神～徳沢～横尾 (梓川左岸歩道)
- ② 横尾～涸沢または奥又白～涸沢 (涸沢歩道)
- ③ 上高地～岳沢、前穂高岳 (岳沢・前穂高岳歩道)
- ④ 槍沢～槍ヶ岳、槍沢～水俣乗越～槍ヶ岳、槍ヶ岳～南岳 (槍ヶ岳歩道)
- ⑤ 三股、横尾、長堀、蝶ヶ岳～大滝山～大滝槍見台 (蝶ヶ岳歩道)
- ⑥ 一ノ沢、三股、常念岳～東天井岳 (常念岳歩道)
- ⑦ 合戦尾根、東沢、燕岳～東天井岳 (燕岳歩道)
- ⑧ 上高地～西穂高岳～割谷山 (西穂高岳歩道)
- ⑨ 涸沢～北穂高岳～大キレット、涸沢岳 (北穂高岳歩道)
- ⑩ 涸沢～奥穂高岳～前穂高岳、涸沢岳 (奥穂高岳歩道)
- ⑪ 天狗原分岐～天狗原～南岳～大キレット (南岳歩道)
- ⑫ 水俣乗越～西岳～赤岩岳北 (西岳歩道)
- ⑬ 上高地～焼岳～割谷山 (焼岳歩道)
- ⑭ 中ノ湯～焼岳 (焼岳歩道)
- ⑮ 大滝槍見台～徳本峠～霧沢岳 (徳本峠歩道)
- ⑯ 大滝山～鍋冠山～冷沢 (大滝山歩道)
- ⑰ 赤岩岳北～大天井岳周囲 (大天井岳歩道)
- ⑱ 有明山歩道

# 1 寄付金の収受

## 3 収受の場所と受付方法 (1/2)

### 協議会ウェブサイト

- 北アルプス登山道等維持連絡協議会ウェブサイト上に寄付金の支払い方法を掲載。オンラインで、クレジットカード決済および銀行振込での支払いに関する案内を行った。(トップページから寄付ページに誘導)



#### 寄付の方法

クレジットカード、もしくは現金より寄付をしていただくことができます。

##### クレジットカード

下のボタンのリンク先ページから寄付口座を選んでいただき、クレジットカード決済でご寄付いただけます。

対応カード：

クレジットカードで寄付する

##### 銀行振込

寄付金額を以下の口座へ、銀行窓口、ATMまたはインターネットバンキングよりお振り込みください。  
※振込手数料は寄付者様のご負担となります。ご了承ください。

金融機関名 八十二銀行  
支店名 松本営業部(店番号411)

### クレジットカード決済

#### 決済代行会社Syncable



#### Associate Information

### 銀行振込

#### 協議会の寄付金用口座を開設

- \* 八十二銀行 普通
- \* 北アルプス登山道等維持連絡協議会
- \* 会長



# 1 寄付金の收受

## 3 收受の場所と受付方法 (2/2)

### 山小屋募金箱

- 山小屋の**既存募金箱を活用**し、現地での現金支払いを受け付けた。

募金箱設置の山小屋一覧

1	西穂山荘	12	殺生ヒュッテ
2	穂高岳山荘	13	ヒュッテ西岳
3	北穂高小屋	14	燕山荘
4	涸沢小屋	15	合戦小屋
5	涸沢ヒュッテ	16	大天荘
6	横尾山荘	17	ヒュッテ大槍
7	槍ヶ岳山荘	18	常念小屋
8	槍沢ロッチ	19	蝶ヶ岳ヒュッテ
9	岳沢ヒュッテ	20	徳本峠小屋
10	南岳小屋	21	焼岳小屋
11	大天井ヒュッテ		

横尾山荘



燕山荘



岳沢小屋



合戦小屋



# 1 寄付金の収受

## 4 周知方法 (1/2)

### 広報媒体の現地設置・配布

#### 看板

- ▶ 登山口12ヶ所
- ▶ 上高地登山相談所



#### チラシ

- ▶ アルピコ交通バス車内
- ▶ 上高地登山相談所
- ▶ 平湯バスターミナル
- ▶ 関連ホテル・旅館20カ所



#### カード

- ▶ 山小屋22ヶ所 (募金箱横等)



- ▶ 調査員による手渡し配布
- ▶ 調査地点：横尾登山口、上高地バスターミナル  
中房登山口

第1回	9/18 (土) ,19 (日) ,20 (月祝)
第2回	9/23 (木祝) ,24 (金) ,25 (土) ,26 (日)
第3回	10/2 (土) ,3 (日)
第4回	10/9 (土) ,10 (日)



#### ポスター

- ▶ 沢渡ナショナルパークゲート
- ▶ 平湯バスターミナル
- ▶ あかんだな駐車場
- ▶ 上高地食堂



#### ラミネート

- ▶ 山小屋22カ所
- ▶ 登山相談所7カ所
- ▶ 関連ホテル・旅館20カ所





# 1 寄付金の収受

## 4 周知方法 (2 / 2)

### その他

## 主な一次・二次情報発信

日付	種別	媒体	発元・掲載先等
09/18 (土)	報道	テレビ	NHK 首都圏 NEWS WEB
09/18 (土)	報道	ウェブ	NHK NEWS WEB
09/18 (土)	報道	新聞	中日新聞
09/18 (土)	報道	新聞	信濃毎日新聞
09/18 (土)	広報	ウェブ	自然公園財団 上高地支部
09/18 (土)	広報	ウェブ	横尾山荘
09/18 (土)	広報	ウェブ	やまたみ
09/18 (土)	広報	ウェブ	小林千穂の「山でわくわく」
09/18 (土)	広報	ウェブ	信越自然環境事務所
09/18 (土)	広報	ウェブ	槍ヶ岳山荘スタッフブログ
09/18 (土)	広報	ウェブ	さんけんブログ
09/19 (日)	報道	テレビ	NHK 首都圏ナビ
09/19 (日)	報道	新聞	信濃毎日新聞
09/19 (日)	報道	テレビ	NHK NEWS おはよう日本
09/19 (日)	広報	ウェブ	くものこや

日付	種別	媒体	発元・掲載先等
09/19 (日)	報道	新聞	市民タイムス
09/20 (月)	広報	ウェブ	長野県 山岳情報
09/21 (火)	広報	ウェブ	上高地公式Webサイト
09/23 (木)	広報	ウェブ	Youtube まいたびチャンネル
09/29 (水)	広報	ウェブ	長野県魅力発信ブログ
09/29 (水)	広報	SNS	中部山岳国立公園 Facebook
09/30 (木)	広報	SNS	YAMAP Facebook
10/01 (金)	報道	ウェブ	NHK NEWS おはよう日本
10/01 (金)	広報	アプリ	YAMAP 公式モーメント
10/01 (金)	広報	SNS	YAMAP twitter
10/02 (土)	広報	ウェブ	北穂高小屋
10/16 (土)	報道	ラジオ	石丸謙二郎の山カフェ
10/19 (火)	報道	ウェブ	ヤマケイオンライン

## 山小屋HP (槍ヶ岳山荘グループ)

RIGGS  
槍ヶ岳山荘のスタッフブログ

2022  
NIPPON ALPS  
CALENDAR

2021年の営業は終了しました。  
来シーズンも、皆さまのお越しをお待ちしております。

北アルプスの登山道を未来につなごう！  
2021/09/18

北アルプスの登山道を未来につなごう！

2021/09/18

ここに  
降り出さず。  
雪かきですが、雪解けしている登山道は整備されているということをご存知ですか？  
北アルプス東部地域では、利用者の方に登山道の現状を知っていただき、  
登山道を維持していく新たな制度を検討しています。

様子の一端として、登山道維持のために利用者の皆様から保護費の寄付金を募る取り組みを実施いたします。

小屋に掲示しているPDFを発行しますので、  
お時間あるときにぜひご覧ください。

1:1 オンラインサポート

2:1 オンラインサポート

実施期間は2021年9月18日(土)～10月18日(日)までです。

今年も安心・安全な登山を楽しんでいただくために  
ご寄付やアンケート回答へのご協力をお願いします。

ご寄付やアンケートは発行(槍ヶ岳山荘)でも行っていますが、  
Webサイトからでもできるようになっています。  
北アルプス登山道維持連絡協議会のサイトを閲覧してみてください。

北アルプス登山道維持連絡協議会  
<https://nationalpark-japansealpstrail.jp/>

ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

## YAMAP公式アプリ

モーメント

【公式】YAMAP  
2021.10.01 (金)

【ワンコインから参加OK！北アルプスの登山道を守る取り組みに協力してみませんか？】

北アルプスの登山道維持のために、登山者がワンコインで協力できる新たな取り組みが行われています。

今回は実証実験ということで、対象は槍穂高連峰・常念山脈エリア。寄付の締め切りは10月18日までのです。

登山を支えてくれている方々を、みんなでサポートしませんか？

▼詳細は以下よりご覧ください！  
<https://nationalpark-japansealpstrail.jp/>

北アルプス  
トレイル  
プログラム  
(仮)

## 山小屋Instagram (横尾山荘)

Instagram

北アルプス  
トレイル  
プログラム  
(仮)

「登山は誰が、どうやって整備しているんだろう。」と考えたことはありませんか？

北アルプスの登山道は、山小屋を中心とした協力の努力と資金、それらを支える行政の体制によって維持されてきました。しかし近年、コロナ禍を始めとするさまざまな

いいね！ 457件  
2021/10/01  
ログインすると「いいね！」やコメントができます。

## テレビ放映 (NHK)

NHK

NHK NEWS おはよう日本

第一線のトップアナウンサー

NHK NEWS おはよう日本

北アルプスに変わらなくなる！ワンコインで登山道整備に貢献

NHK 2021年10月1日 午後1:09 公開

# 1 寄付金の収受

## 5 実施体制

### 実施主体

#### 北アルプス登山道等維持連絡協議会

- 会員：松本市長（会長）、安曇野市長（副会長）、関係山小屋事業者 など
- 顧問：中信森林管理署長、環境省中部山岳国立公園管理事務所長
- 事務局幹事：松本市、安曇野市、中信森林管理署、北アルプス山小屋友交会、自然公園財団上高地支部
- 役割：寄付金の収受と管理、協議会ウェブサイトの開設と更新

検討内容を  
共有

実験結果の  
共有

### 検討主体

#### 中部山岳国立公園南部地域山岳部における 利用者参加制度のあり方検討会

- 環境省中部山岳国立公園管理事務所（上高地管理官事務所）が主体となり開催
- 構成員：中信森林管理署、長野県、松本市、安曇野市、遭対協、山小屋友交会、上高地町会、上高地観光旅館組合、自然公園財団上高地支部
- 役割：実験に係る取組（情報提供、結果の解析等）の実施方針および寄付金の使途等の検討

### 寄付金の収受・管理主体

- クレジットカード決済システム(Syncable)の手配・管理⇒環境省
- 寄付金振込用口座の開設・管理⇒中信森林管理署
- 山小屋募金箱⇒山小屋友交会

### 事業補助

#### 委託事業者：公益財団法人日本交通公社

- 役割：協議会ウェブサイトの当初コンテンツ作成、広報媒体の製作・設置・撤去、実験内容の設計と結果の集計・分析、検討会開催に係る事務 等

### 事業の実施(登山道維持)

- 寄付金を活用した登山道維持作業の実施（予定）

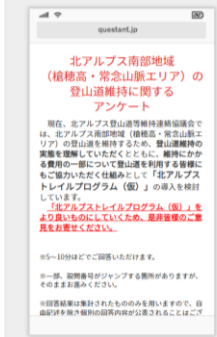
# 2

# 利用者等の理解促進のための情報提供

## 1 協議会ウェブサイトの開設 (1/2)

### トップページ

- ◆ 寄付
- ◆ アンケート調査
- ◆ 取組説明 (北アルプストレイルプログラム (仮) とは)
- ◆ 北アルプス登山道等維持連絡協議会について
- ◆ お知らせ



↓ 協議会ウェブサイトへのリンク



# 利用者等の理解促進のための情報提供

## 1 協議会ウェブサイトの開設 (2/2)

### 取組説明ページ

お知らせ | 北アルプストレイルプログラム(認定) | 協賛者について | ご寄付のお願い

### 北アルプストレイルプログラム(認定)について(認定実施)

北アルプスの登山道は、山小屋を中心とした関係者の努力と資金、それらを支える行政の取組によって維持されてきました。近年、コロナ禍をはじめとする緊急の変化により、これまでの形で登山道維持を行うことが難しくなっています。そこで、利用者の皆様と登山道維持の現状を正しくお伝えし、たく、皆様からの協力や参加により登山道を維持していく新たな取組を行っています。

### 協賛の意義

「登山道は誰が、どうやって維持しているんだろ」と考えたことはありませんか？北アルプス東部地域では、行政機関、関係の山の会が主体力により、登山道の維持を行ってまいりましたが、協賛制によるアルプス山小屋会連合体からの申請などにより、これまで関係の維持が一層難しくなっています。

そこで、利用者の皆様と登山道維持の現状を正しくお伝えし、たく、協賛にご参加いただくことにより登山道を維持していく新たな取組を協賛してまいります。

今後、お名前を募集・認定して登山道に示すために、取組へのご賛助のご協力を募集いたします。

- 賛助協賛者募集
- 賛助協賛者募集

### 利用者の皆様へのお願い

「登山道維持への協力」には、登山道への参加方法があります。ぜひ皆様のご参加をお願いいたします。

- 登山道維持の現状を知る
- 登山道に新しい盛り上がりを感じる
- 登山道維持に関する取組を協賛者資料などから知り、理解を深め、関係者を理解しましょう。
- 登山道に新しい盛り上がりを感じる
- 登山道維持に関する取組を協賛者資料などから知り、理解を深め、関係者を理解しましょう。
- 登山道に新しい盛り上がりを感じる
- 登山道維持に関する取組を協賛者資料などから知り、理解を深め、関係者を理解しましょう。

### よくあるご質問

寄付金の使い道は何か？  
A 中国の実証実験で集めた寄付金につきましては、北アルプス東部地域(長野県)における登山道の維持推進事業に活用させていただきます。

寄付金の総額見込みは？(目標額は)？  
A どのくらいの寄付額が集まるかを念めて集めて位置付けています。一定期間に目標額を定めて寄付金を集めるようなクラウドファンディングとは異なり、登山道維持の実態も多くの方に理解いただき、継続的に事業費も利用者の皆様にも協力いただきたいと思います。

### R3年度実施概要(終了)

今回の実施概要では、先述した取組の進捗として協賛者募集(山小屋エリア)も進んでいます。今後の取組への展開は、実証実験結果なども検討してまいります。

実験の実施期間  
2022年(令和3年)9月18日(土)から10月18日(月)まで

実験の対象地域、対象者

- 長野県東部、中央部エリアの長野県登山道を利用する登山者
- 上記の登山道の維持にご協力いただける、すべての方

実験の実施内容  
頂いた寄付金は北アルプス登山道維持推進協議会が管理し、協賛者が提供する登山道の維持のための資金として活用させていただきます。

### なぜ北アルプス東部地域で行うのか？

A 北アルプスにおける登山道の維持は、行政機関だけでなく、民間の山小屋の一部を持ち出す形で、毎年の維持作業(例木の剪定等)、大規模な維持作業(木道の敷設、石積み)も実施してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症流行(密を避けるための定員制限の厳格化など)さまざまな社会環境変化(そのほか労働力の確保や高齢化への対応など)や大規模な維持作業(木道の敷設、石積み)も実施してきました。一定期間に目標額を定めて寄付金を集めるようなクラウドファンディングとは異なり、登山道維持の実態も多くの方に理解いただき、継続的に事業費も利用者の皆様にも協力いただきたいと思います。

### なぜ長野県(信濃・東信)だけが対象なのか？

A 北アルプス全域における登山道の維持は、山岳利用の歴史や地域の特徴、関係者の関わり方によって維持の方法が異なっています。利用者を一旦絞りこむことが望ましいと思いますが、すぐに絞りこむことはできないため、現地に寄り添うことのできる地域から取組に取り組みしています。

### 誰が決めるのか？

A 中国の実証実験でいただいた寄付金の具体的な使途は、環境省中部山岳国立公園管理事務所、信州市、安曇野市、中野市、長野県、北アルプス山小屋会連合会など登山道の維持管理に関与する関係者で構成される「北アルプス登山道維持推進協議会」協議のうえ決定します。また、上記メンバー・学識経験者などで構成し実証実験などについて検討する「中部山岳国立公園東部地域山岳部における利用者参加制度のあり方検討会」での検討結果が反映されることがあります。

### 協議会紹介ページ

お知らせ | 北アルプストレイルプログラム(認定) | 協賛者について | ご寄付のお願い

### 北アルプス登山道維持推進協議会の役割

北アルプス登山道維持推進協議会(山小屋や民間の山岳部会等)と、国土交通省(国土交通省)との協働による登山道の維持を推進してまいります。

構成

会長 石巻 隆夫

副会長 佐藤 隆夫

幹事 佐藤 隆夫

顧問 中野 隆夫

事務局 環境省中部山岳国立公園管理事務所

事務局 長野県中部山岳部会

### 土砂崩れの復旧

登山道沿いの斜面が土砂崩れで登山道の通行ができなくなりました。崩れがよくなるまで待たせ、通行が再開した。崩れがよくなるまで待たせ、通行が再開した。

### 石積による補修

崩れが復旧し通行できるようになりました。崩れが復旧し通行できるようになりました。

### 登山道の復旧

崩れが復旧し通行できるようになりました。崩れが復旧し通行できるようになりました。

### 利用者参加制度のあり方検討会

利用者参加制度のあり方検討会は、持続可能な登山道維持を実現するための取組の進捗について検討する委員会です。

開催報告

開催報告	開催日時	主な議題
第1回検討会	2022年(令和3年)8月13日(土)	・利用者の参加目的や意向や検討対象の整理、協賛共有 ・あり方検討会の目的と位置づけ、検討の進め方の共有 ・実証実験の実証計画(第一期)の検討 ・協賛者募集資料の共有
第2回検討会	2022年(令和3年)9月7日(土)	・実証実験の実証計画(第二期)の検討 ・実証実験の実証計画(第三期)の検討 ・協賛者募集資料の共有

環境省 中部山岳国立公園管理事務所 (長野県)  
〒390-1316 長野県松本市市東460 TEL 0263-95-2032

### お知らせページ

お知らせ | 北アルプストレイルプログラム(認定) | 協賛者について | ご寄付のお願い

2023.02.02 実証実験の実証計画について

2023.01.19 今年シーズンの実験は終了しました

2023.09.13 第2回検討会資料を掲載しました

2023.09.13 第1回検討会資料を掲載しました

環境省 中部山岳国立公園管理事務所 (長野県)  
〒390-1316 長野県松本市市東460 TEL 0263-95-2032



# 利用者等の理解促進のための情報提供

## 2 広報媒体による現地での周知

### 広報媒体の種類と訴求内容

#### 呼びかけ

- ◎ 「この登山道は使用できません」となってしまったら？
- ◎ 北アルプスの登山道を未来につなごう

#### 背景説明

いま、登山道の維持が危機に瀕していることをご存じですか？  
北アルプス南部地域では、利用者の方に登山道の現状を知って頂き、登山道を維持していく新たな制度を検討しています。  
検討の一環として、登山道維持のために利用者の皆様から**任意の寄付金を募る**取組を実施しております。  
今後も安心・安全な登山を楽しんで頂くために、ご寄付やアンケート回答へのご協力をお願いします。

### ポスター/チラシ (片面)

北アルプストレイルプログラム (仮)  
北アルプスの登山道を未来につなごう

【実施期間】 2021年9月18日 (土) から10月18日 (月) まで

【対象者】 ① 穂積高連峰、常念山脈エリアの長野県側登山道を利用する方 (右図赤線の範囲)  
② 取組にご賛同頂ける全ての方

【実施主体】 北アルプス登山道等維持連絡協議会

【実施体制】 頂いた寄付金は協議会が管理し、協議会が実施する登山道維持の資金として活用させていただきます。

【寄付金の活用イメージ】  
① 土砂崩れの復旧 (橋梁~植栽) ② 石積による補修 (上高地~西穂高岳)

【問い合わせ先】 環境省上高地管理事務所 (検討主体) 受付時間 9:00~16:00 (土日祝日除く) 〒390-1516 長野県松本市安曇468 TEL:0263-95-2032

### ラミネート (両面)

北アルプストレイルプログラム (仮)  
北アルプスの登山道を未来につなごう

いま、登山道の維持が危機に瀕していることをご存じですか？  
北アルプス南部地域では、利用者の方に登山道の現状を知って頂き、登山道を維持していく新たな制度を検討しています。  
検討の一環として、登山道維持のために利用者の皆様から**任意の寄付金を募る**取組を実施しております。  
今後も安心・安全な登山を楽しんで頂くために、ご寄付やアンケート回答へのご協力をお願いします。

【実施期間】 2021年9月18日 (土) から10月18日 (月) まで

【対象者】 ① 穂積高連峰、常念山脈エリアの長野県側登山道を利用する方 (右図赤線の範囲)  
② 取組にご賛同頂ける全ての方

【実施主体】 北アルプス登山道等維持連絡協議会

【実施体制】 頂いた寄付金は協議会が管理し、協議会が実施する登山道維持の資金として活用させていただきます。

【寄付金の活用イメージ】  
① 土砂崩れの復旧 (橋梁~植栽) ② 石積による補修 (上高地~西穂高岳)

【問い合わせ先】 環境省上高地管理事務所 (検討主体) 受付時間 9:00~16:00 (土日祝日除く) 〒390-1516 長野県松本市安曇468 TEL:0263-95-2032

### カード

北アルプストレイルプログラム (仮)  
北アルプスの登山道を未来につなごう

【実施期間】 2021年9月18日 (土) ~10月18日 (月)

Webサイトから、**寄付金へのご協力をお願いします** (オンライン決済)

アンケートより、**今回の取組に対する皆様のご意見を**お聞かせ下さい

検討の経緯や取組の詳細について情報を発信しております

<http://ur2.link/LvxZ>

北アルプス登山道等維持連絡協議会

### 看板

北アルプストレイルプログラム (仮)  
「この登山道は使用できません」となってしまったら？

いま、登山道の維持が危機に瀕していることをご存じですか？  
北アルプス南部地域では、利用者の方に登山道の現状を知って頂き、登山道を維持していく新たな制度を検討しています。  
検討の一環として、登山道維持のために利用者の皆様から**任意の寄付金を募る**取組を実施しております。  
今後も安心・安全な登山を楽しんで頂くために、ご寄付やアンケート回答へのご協力をお願いします。

Webサイトから、**寄付金へのご協力をお願いします** (オンライン決済)

アンケートより、**今回の取組に対する皆様のご意見を**お聞かせ下さい

検討の経緯や取組の詳細について情報を発信しております

<http://ur2.link/LvxZ>

【実施期間】 2021年9月18日 (土) から10月18日 (月) まで

【対象者】 ① 穂積高連峰、常念山脈エリアの長野県側登山道を利用する方 (右図赤線の範囲)  
② 取組にご賛同頂ける全ての方

【実施主体】 北アルプス登山道等維持連絡協議会

【実施体制】 頂いた寄付金は協議会が管理し、協議会が実施する登山道維持の資金として活用させていただきます。

【問い合わせ先】 環境省上高地管理事務所 (検討主体) 〒390-1516 長野県松本市安曇468 TEL:0263-95-2032

#### Q. 「登山道の維持が危機に瀕している」とはどういうこと？

A. 北アルプス南部地域には複数の登山道が存在します。登山道の維持は、行政機関だけでなく、**民間の山小屋が収益の一部を捻出する形で、毎年の維持作業 (倒木の除去等) や大雨による補修作業 (水道の更新、石積み等)** を実施してきました。  
しかし、新型コロナウイルス感染症流行や大雨による被害など、さまざまな社会環境変化や自然環境変化の影響により、これまでの体制による登山道の維持が困難になっています。

～山小屋による登山道維持の様子～

登山道の雪割 (橋沢~穂ヶ岳)	石積による補修 (上高地~西穂高岳)	土砂崩れの復旧 (橋尾~橋沢)	ハンゴ補修 (志沢~前穂高岳)
施工前	施工前	施工前	施工中
施工中	施工後	施工後	施工後

#### Q. なぜ寄付が必要？

A. 当エリアの山小屋や関係行政機関で構成する北アルプス登山道等維持連絡協議会の令和2年度決算書によると、**約1,600万円の歳入**に対して、**歳出は約2,700万円**となっています。不足する費用分は、**山小屋の収益から捻出する**ことになってしまっています。まずはこのような費用負担を軽減するため、利用者の皆様から寄付金をいただく取組を本格的に行っています。

歳入計 約1,600万円	歳出計 約2,700万円
-----------------	-----------------



# 3 利用者意識の把握

## 1 アンケート調査の実施概要

### 内容

#### 実施概要

調査名称	北アルプス南部地域（槍穂高・常念山脈エリア）の登山道維持に関するアンケート
目的	利用者参加制度（北アルプストレイルプログラム（仮））に対する利用者（登山者）の意識・意向を把握し、持続可能な制度運用にかかる改善点を検討する。
実施主体	北アルプス登山道等維持連絡協議会
対象者	・ 槍穂高・常念山脈エリアの長野県側登山道を利用する登山者 ・ 上記の登山道の維持に協力するすべての人
期間	令和3年9月18日（土）～10月18日（月）
方法	手法：オンライン自記式調査 ・ 協議会ウェブサイト内 ・ 告知カードの配布を追加的に実施。 （3登山口、全4回11日間）
調査項目	属性／今回の登山内容／現状の問題に対する認知／北アルプストレイルプログラム（仮）に対する意識（協力有無、金額、支払いやすい方法 等）等

### 調査項目

#### 〈1〉 北アルプス南部地域の登山道維持で生じている問題について

- ・ 問題に対する認知度：山小屋が登山道維持をしていること／山小屋の収益の一部の持ち出し／山小屋の経営悪化により維持ができなくなる可能性
- ・ 協力してもよい行動

#### 〈2〉 北アルプストレイルプログラム（仮）について

- ・ 取組実施の認知度
- ・ 認知のきっかけ
- ・ 寄付金の支払い有無／金額／方法
- ・ 支払いの理由／支払わない理由

#### 〈3〉 今後、北アルプス南部地域で登山をする場合について

- ・ 寄付金の支払い意思
- ・ 支払いやすいタイミングと方法
- ・ 支払ってもよい金額

#### 〈4〉 登山動向・属性

- ・ 実験期間中の現地訪問有無
- ・ 登山道の利用状況
- ・ 登山日数・形態等
- ・ 登山レベル・登山頻度・登山歴・対象地域への登山経験